



## 平成24年2月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成24年1月10日

上場会社名 株式会社 ジェイプロジェクト 上場取引所 東  
 コード番号 3063 URL <http://www.jproject.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新田 二郎 TEL 052-243-0026  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 林 芳郎  
 四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年2月期第3四半期の連結業績 (平成23年3月1日～平成23年11月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第3四半期	7,003	△0.9	80	—	134	—	73	—
23年2月期第3四半期	7,068	3.7	△18	—	△38	—	△230	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年2月期第3四半期	2,391	18	2,213	94
23年2月期第3四半期	△7,829	79	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
24年2月期第3四半期	6,451	1,521	1,521	1,349	23.6	49,210	43	
23年2月期	6,557	1,349	1,349	—	20.6	45,894	95	

(参考) 自己資本 24年2月期第3四半期 1,521百万円 23年2月期 1,349百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
23年2月期	—	0	00	—	0	00	
24年2月期	—	0	00	—	—	—	
24年2月期 (予想)	—	—	—	0	00	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

### 3. 平成24年2月期の連結業績予想 (平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,300	△1.9	120	196.7	180	—	102	—	3,311	37

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 ー社 (社名) 除外 ー社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	31,914株	23年2月期	30,414株
24年2月期3Q	1,000株	23年2月期	1,000株
24年2月期3Q	30,767株	23年2月期3Q	29,414株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(第3四半期連結累計期間) .....	7
(第3四半期連結会計期間) .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	14



## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6,451百万円（前連結会計年度末比106百万円減少）となり、負債は4,929百万円（同278百万円減少）、純資産は1,521百万円（同171百万円増加）となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が235百万円（前連結会計年度末比14百万円増加）、売掛金が289百万円（同12百万円増加）となり、前連結会計年度末に比べ総額で21百万円増加し797百万円となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産の減少（前連結会計年度末比103百万円減少）を主な要因として、前連結会計年度末に比べ128百万円減少し5,653百万円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し2,186百万円となりました。これは、短期借入金34百万円、未払法人税等78百万円、賞与引当金が96百万円それぞれ増加し、1年内返済予定の長期借入金が280百万円減少したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ198百万円減少し2,742百万円となりました。これは、資産除去債務が51百万円増加し、長期借入金が288百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、第三者割当増資の実施により資本金及び資本剰余金がそれぞれ47百万円増加し、利益剰余金が73百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ171百万円増加し1,521百万円となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動によるキャッシュ・フローが535百万円（前年同期比142.2%増）の資金増、投資活動によるキャッシュ・フローが60百万円（同85.9%減）の資金減、財務活動によるキャッシュ・フローが460百万円の資金減（前年同期は18百万円の資金増）となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の資金残高は134百万円となり、前連結会計年度末の119百万円に比べ14百万円増加しております。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は535百万円（前年同期比142.2%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を172百万円、非資金項目である減価償却費を355百万円計上したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は60百万円（前年同期比85.9%減）となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出が137百万円、差入保証金の差入による支出が90百万円あり、有形固定資産の売却による収入が111百万円、差入保証金の回収による収入が97百万円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は460百万円（前年同期は18百万円の獲得）となりました。これは主に、株式の発行による収入が93百万円、長期借入れによる収入が200百万円であったのに対し、長期借入金の返済による支出が768百万円であったことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の見通しにつきましては、東日本大震災後の景気動向、消費動向が不確実な状況でありましたが、売上高は堅調に推移してまいりました。特にGM（ゼネラルマネージャー）制度の導入成果もあり、居酒屋業態の既存店売上高は回復が鮮明となってまいりました。また、収益力向上のための取り組みとして「J-Value（ジェイバリュー）」を推進し、FLコスト（売上原価及び人件費）の改善に成果がみられてまいりました。

これらの結果、平成23年10月3日に公表いたしました連結業績予想を修正し、売上高9,300百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益120百万円（同196.7%増）、経常利益180百万円（同18.9倍）、当期純利益102百万円（前年同期は当期純損失315百万円）を見込んでおります。なお、本日付けで「業績予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しております。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法により算定しております。

#### ②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は3,583千円、税金等調整前四半期純利益は29,928千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は51,628千円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	235,063	220,634
売掛金	289,640	277,423
有価証券	343	342
商品及び製品	75	162
原材料及び貯蔵品	60,219	56,267
その他	230,390	236,355
貸倒引当金	△17,946	△14,683
流動資産合計	797,784	776,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,473,230	2,567,603
土地	1,131,324	1,131,324
その他（純額）	232,046	241,557
有形固定資産合計	3,836,601	3,940,486
無形固定資産	33,535	39,334
投資その他の資産		
投資有価証券	13,748	9,090
差入保証金	1,430,990	1,479,540
その他	338,411	312,948
投資その他の資産合計	1,783,150	1,801,580
固定資産合計	5,653,287	5,781,401
資産合計	6,451,072	6,557,903

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末  
(平成23年11月30日)前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成23年2月28日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	337,974	350,491
短期借入金	170,372	136,330
1年内返済予定の長期借入金	690,407	970,475
未払法人税等	105,451	26,891
賞与引当金	96,475	—
その他	786,285	782,274
流動負債合計	2,186,965	2,266,463
固定負債		
長期借入金	2,407,588	2,696,221
資産除去債務	51,646	—
その他	283,580	245,265
固定負債合計	2,742,815	2,941,486
負債合計	4,929,781	5,207,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,531	701,122
資本剰余金	678,531	631,122
利益剰余金	166,413	92,843
自己株式	△76,000	△76,000
株主資本合計	1,517,476	1,349,088
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	3,815	865
評価・換算差額等合計	3,815	865
純資産合計	1,521,291	1,349,954
負債純資産合計	6,451,072	6,557,903



(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
売上高	7,068,509	7,003,155
売上原価	2,187,155	2,110,412
売上総利益	4,881,353	4,892,743
販売費及び一般管理費	4,899,640	4,812,675
営業利益又は営業損失(△)	△18,286	80,067
営業外収益		
受取利息	457	213
協賛金収入	25,249	86,489
設備賃貸料	10,124	10,177
その他	9,615	22,164
営業外収益合計	45,446	119,044
営業外費用		
支払利息	46,616	44,885
その他	19,264	20,005
営業外費用合計	65,880	64,891
経常利益又は経常損失(△)	△38,720	134,220
特別利益		
固定資産売却益	—	102,499
貸倒引当金戻入額	1,275	295
解約返戻金	14,311	—
特別利益合計	15,586	102,795
特別損失		
貸倒引当金繰入額	12,366	3,474
固定資産売却損	140,254	66
固定資産除却損	321	—
店舗閉鎖損失	6,120	34,234
減損損失	161,340	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	26,345
特別損失合計	320,403	64,120
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△343,537	172,894
法人税等	△113,232	99,325
少数株主損益調整前四半期純利益	—	73,569
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△230,305	73,569

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)
売上高	2,339,952	2,377,285
売上原価	741,503	738,268
売上総利益	1,598,449	1,639,017
販売費及び一般管理費	1,637,584	1,613,540
営業利益又は営業損失(△)	△39,135	25,476
営業外収益		
受取利息	61	63
協賛金収入	4,764	8,939
設備賃貸料	3,391	3,361
その他	2,632	2,957
営業外収益合計	10,849	15,321
営業外費用		
支払利息	16,008	13,739
為替差損	7,750	3,995
その他	4,689	4,900
営業外費用合計	28,448	22,636
経常利益又は経常損失(△)	△56,733	18,162
特別利益		
貸倒引当金戻入額	16	19
特別利益合計	16	19
特別損失		
貸倒引当金繰入額	3,750	5
固定資産売却損	129,997	—
店舗閉鎖損失	6,120	604
減損損失	161,340	—
特別損失合計	301,208	610
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△357,925	17,571
法人税等	△130,284	16,510
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,061
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△227,641	1,061

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△343,537	172,894
減価償却費	443,829	355,688
減損損失	161,340	—
のれん償却額	—	744
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,523	96,475
受取利息及び受取配当金	△457	△213
支払利息	46,616	44,885
有形固定資産売却益	—	△102,499
有形固定資産売却損	140,254	66
有形固定資産除却損	321	—
解約返戻金	△14,311	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	26,345
売上債権の増減額(△は増加)	△74,138	△12,230
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,027	△3,898
仕入債務の増減額(△は減少)	6,522	△12,430
その他	△22,534	30,536
小計	386,457	596,365
利息及び配当金の受取額	544	213
利息の支払額	△48,913	△44,537
法人税等の支払額	△116,870	△16,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,217	535,873
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△335,065	△137,545
有形固定資産の売却による収入	22,100	111,486
無形固定資産の取得による支出	△19,163	△1,287
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,481	—
差入保証金の回収による収入	28,089	97,287
差入保証金の差入による支出	△118,913	△90,648
その他	△9,156	△39,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428,627	△60,299
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	13,332	34,042
長期借入れによる収入	827,777	200,000
長期借入金の返済による支出	△814,444	△768,700
リース債務の返済による支出	△9,599	△19,576
株式の発行による収入	1,000	93,542
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,066	△460,692
現金及び現金同等物に係る換算差額	203	△71
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△189,140	14,810
現金及び現金同等物の期首残高	361,732	119,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	172,591	134,564

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日）

	飲食事業 (千円)	ブライダル 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,131,796	103,020	53,758	51,376	2,339,952	—	2,339,952
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	32,610	—	5,100	33,549	71,259	△71,259	—
計	2,164,406	103,020	58,858	84,926	2,411,212	△71,259	2,339,952
営業利益又は営業損失(△)	△59,728	2,749	12,166	3,790	41,022	1,887	△39,135

## (注) 1. 事業区分の方法

事業の種類別セグメントは、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各事業区分の主要な内容

飲食事業・・・居酒屋、レストラン等での飲食サービスの提供

ブライダル事業・・・挙式・披露宴サービスの提供

不動産事業・・・不動産の賃貸・管理業務等

その他の事業・・・広告代理業等、卸売業

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

	飲食事業 (千円)	ブライダル 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,557,345	236,581	165,459	109,123	7,068,509	—	7,068,509
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	75,434	—	15,300	213,483	304,218	△304,218	—
計	6,632,780	236,581	180,759	322,606	7,372,728	△304,218	7,068,509
営業利益又は営業損失(△)	△62,550	△14,844	40,545	13,038	△23,811	5,524	△18,286

## (注) 1. 事業区分の方法

事業の種類別セグメントは、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各事業区分の主要な内容

飲食事業・・・居酒屋、レストラン等での飲食サービスの提供

ブライダル事業・・・挙式・披露宴サービスの提供

不動産事業・・・不動産の賃貸・管理業務等

その他の事業・・・広告代理業等、卸売業

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自平成22年9月1日 至平成22年11月30日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年11月30日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の金額の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 〔海外売上高〕

前第3四半期連結会計期間（自平成22年9月1日 至平成22年11月30日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至平成22年11月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するため、定期的に検討を行う対象となっているものとあります。

当社グループは、居酒屋、レストランなどの飲食事業を中心に、ブライダル事業、不動産事業等の複数の事業を営んでおり、その事業区分ごとに当社及び当社の連結子会社が単一もしくは複数の事業に従事する事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業別のセグメントから構成されており、「飲食事業」、「ブライダル事業」及び「不動産事業」の3つを報告セグメントとしております。

「飲食事業」は、居酒屋、レストラン等での飲食サービスを提供しております。「ブライダル事業」は、挙式・披露宴サービスを提供しております。「不動産事業」は不動産の賃貸・管理業務等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,453,485	210,165	128,107	6,791,758	211,396	7,003,155	—	7,003,155
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	57,785	—	22,988	80,774	228,646	309,420	△309,420	—
計	6,511,271	210,165	151,095	6,872,533	440,043	7,312,576	△309,420	7,003,155
セグメント利益又は損失(△)	50,586	△2,228	8,091	56,449	18,115	74,564	5,502	80,067

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5,502千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	ブライダル	不動産	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,151,944	99,934	40,189	2,292,069	85,216	2,377,285	—	2,377,285
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	27,305	—	10,043	37,348	87,088	124,437	△124,437	—
計	2,179,249	99,934	50,233	2,329,417	172,305	2,501,723	△124,437	2,377,285
セグメント利益又は損失(△)	3,745	6,924	811	11,481	10,505	21,986	3,490	25,476

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理業や卸売業、有料職業紹介業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3,490千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年3月28日付で、サントリービア&スピリッツ株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が47,409千円、資本準備金が47,409千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が748,531千円、資本準備金が678,531千円となっております。